

区分・種別	重要文化財(工芸品)		
名称	たち 太刀 1口	銘 恒真	かわつつみたちこしらえ 革包太刀拵
所在地	今治市大三島町宮浦		
所有者	大山祇神社	管理団体	
指定年月日	明治34年3月27日		
解説	<p>この拵<small>こしらえ</small>は、総長105.5cm、大山祇神社所蔵のこの種のもののうちで最も古式である。頭<small>つば</small>、鐔<small>おおせつば</small>の大切羽<small>ひょうびょう</small>、俵鉾<small>ひょうびょう</small>などの表に出る金具は金銅で作り、枝菊文を高彫で表わしている。鞘<small>さや</small>は茶しば革<small>しばひき</small>で包んでおり、革に包まれた部分（例えば革の破れ目から刀身をのぞかせている<small>しばひき</small>芝引など）足金物の太鼓金や革先金などは無地の赤銅である。</p> <p>なお、刀身は、刃長76.4cm、反<small>そ</small>り2.7cm、鑄造<small>しのぎづくり</small>、庵棟<small>いおりむね</small>である。鎌倉時代の作とみられる。</p>		

